

議会報告会 報告書

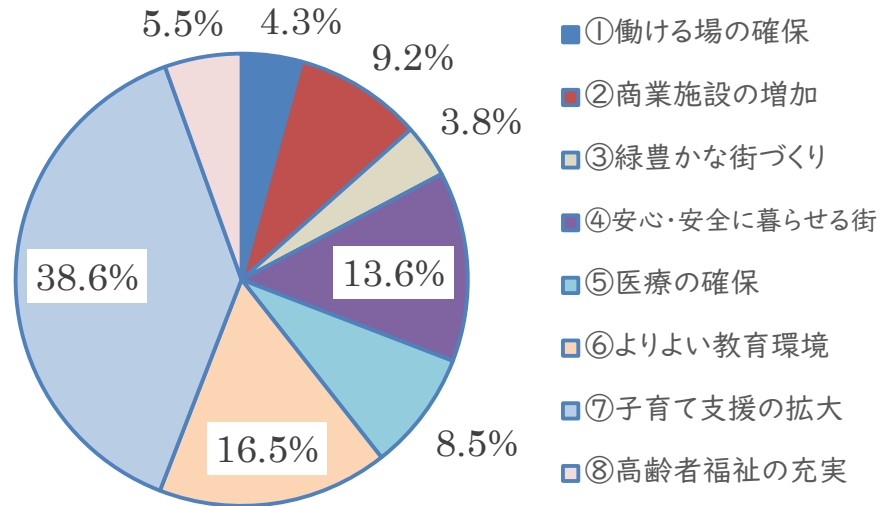
彦根市議会議長 赤井 康彦 様

広聴委員会

委員長 黒澤茂樹

開催日時	令和4年8月6日(土)、7日(日) 17時00分～20時00分				
開催場所	ひこねゆかたまつり 議会ブース(夢京橋キャスルロード内)				
出席議員	議員氏名				
	6日:野村議員・辻議員(副委員長)・谷口議員・黒澤議員(委員長) 7日:森田議員・中川議員・矢吹議員・谷口議員・黒澤議員(委員長)				
参加者数	シールアンケート回答者	6日:347人、7日:308人 2日間計:655人			
	自由記述アンケート回答者	6日20人、7日8人 2日間計:28人			
内容 (内容及び時間配分)	シールアンケート内訳 (単位:人)				
		6日	7日	合計	割合
	①働ける場の確保	17	11	28	4.3%
	②商業施設の増加	33	27	60	9.2%
	③緑豊かな街づくり	14	11	25	3.8%
	④安心・安全に暮らせる街	46	43	89	13.6%
	⑤医療の確保	29	27	56	8.5%
	⑥よりよい教育環境	49	59	108	16.5%
	⑦子育て支援の拡大	141	112	253	38.6%
	⑧高齢者福祉の充実	18	18	36	5.5%
	合計	347	308	655	100%

出張!議会広聴の日 シールアンケート結果



自由記述アンケートの主な内容

- ・子ども医療費を中学3年生まで無料に
- ・医療費補助の拡充を
- ・他府県から集客できるような、子どもが遊べるプール、スケートボードパークなどを作ってほしい
- ・教育費への補助、障害者児童への支援
- ・除雪、道が狭い、歩道がない
- ・ベビーカーが通りやすい道を作ってほしい

主な質疑応答および考察

今回の第41回議会報告会は、『出張!!議会広聴の日』と銘打ち、市庁舎で実施していた対面式の相談方式から、8月6日(土)、7日(日)に彦根夢京橋商店街で開催された、「ゆかたまつり」にブースを設けての実施とした。

内容は、アンケートブースと広聴ブースを設け、アンケートブースでは、「彦根市に望むもの」として八つのテーマに沿ってシールを貼るタイプのアンケートを実施し、さらに広聴ブースでは相談希望者と面談できる体制を取った。

両日とも好天に恵まれ多くの人出があった。広聴ブースでの相談は残念ながらゼロであったが、これはお越しの皆さんは「ゆかたまつり」そのものを楽しみにされており致し方ないと思える。

一方シール形式のアンケートでは合計655人の皆さんにご協力をいただいた。また自由記述においても2日間で28名の方から回答を得た。当初、シール形式のアンケートにご協力頂いた方に記念品(ポ

ールペン)を用意したが、記念品の有無にかかわらず多くの皆さんにご協力をいただくと共に関心を持ってもらえたと思う。

アンケート項目は上記のとおりであるが、その結果、市政に対し最も望む項目は「子育て支援の拡大」(38.6%)であり、その次に、「よりよい教育環境」(16.5%)と続く。これは、両日とも親子連れや家族での来場が多かったことも関係すると考えられるが、これからの彦根市の市政運営の課題や方向に大きな示唆となるものだと考える。

また、保護者が子どもに対しアンケート項目についてその内容をかみ砕き説明し、子どもがそれを聞いて自らの意思で彦根市に望むことについてシールを貼る場面も何度か見られ、今後、政治に関心を持ってもらう上でも大切なきっかけになればと思う。

次に自由記述のアンケートでは、「医療費の中学3年生までの無料化」、「子どもの教育充実、教育費補助」、「除雪体制の充実、道路幅拡充、歩道整備」などの意見があった。市当局においては、いずれも多くの財政支出を伴う内容ではあるが、限られた予算のなか、市として取り組むべき事業の優先順位をつけ、市民に分かりやすく説明を行い、国全体が人口減少する中において、他市に無い彦根市独自の仕組みや制度を整え市勢の発展につなげて頂きたいと思う。

繰り返しになるが、今回、市庁舎を出て簡単な方法であるが多くの人から意見を聞いたことは我々にとって大きな成果であった。個別相談と違いより広範な市民の意見であり、今後もこのような方法での広聴も積極的に取り入れていくべきだと考える。また私たち議員も、この声を聞き、市民の望む市政となるようしっかり取り組む必要がある。